

JCI 京都

国内シェアNO.1のPR配信サービスを  
 展開する企業が伝える  
 もうこれまでのPRは通用しない  
 「PRの極意  
 伝えたいことを、  
 届けたい人へ」

参加推奨

2021.4.8 [木] 19:00-21:00  
 @京都ホテルオークラ 3F 翠雲の間



金村 魁氏  
 株式会社PR TIMES  
 営業本部 アカウントプランナー

例会予告

4月

出向者報告



公益社団法人日本青年会議所  
 国際グループ  
 日中協働委員会  
 総括幹事 長谷川 真也 君

本年度、公益社団法人日本青年会議所国際グループ日中協働委員会に総括幹事として出向させていただきました。まずは、出向の機会を与えて下さりこの場をお借りしまして感謝申し上げます。  
 日中協働委員会では、以下事業をおこなっております。

◇「日中協働リーダー育成プロジェクト」(京都含む5都市開催)日本人大学生と中国人留学生による研修・発表プログラム。6月の座談会・発表会には是非皆さまお越しください。石山慶理事長にもご登壇いただく予定です。

◇「日中ビジネス交流会」(東京・大阪開催)華僑企業とのビジネス交流会。4月から計3回開催します。華僑企業と仲良くなつて、中国ビジネスやってみませんか？

◇「日中FUNFANサミット」(横浜開催)当委員会のフィナーレを飾る事業、サマコンに合わせて開催予定です。是非お越し下さい。

総括幹事として出向し、委員長やVCを初めとするスタッフの活動を支えて参ります。また、全国各地からの出向メンバーが事業推進するための支えとなつていきます。

委員会活動

委員会の成功と集まった仲間との友情を作り上げるために、自分自身悪戦苦闘しながら一年間出向を楽しみ、実りのある活動をして参ります。

日中の未来を切り開くのは君だ！  
 参加無料  
 全国5都市開催！  
 日中協働リーダー育成プログラム始動！

事業紹介画像

「温故一新」

おかげさまで創業120周年  
 千年の味、百年の技。

土井忠ば漬本舗

〒601-1251 京都市左京区八瀬花尻町41  
 TEL 075-744-2311 FAX 075-744-2317 http://www.doishibazuke.co.jp/

直営店 本店(洛北・大原) 三千院前店(大原・三千院門前)  
 清水店(東山・清水坂) ポルタ店(京都駅地下街)  
 祇園店(四条花見小路)

竈炊き立てごはん土井  
 京都大原本店(大原・本店内) 祇園店(祇園店2F)  
 京都駅八条口店(JR東海京都駅構内1F ASTYロード内)

竈炊きたて御飯どいPLUS ONE KYOTO  
 SUINA室町店(四条室町SUINA室町 1F)

Soul, electrified.

それは、電動化された魂。

The new Taycan Debut.



新型タイカン、試乗予約受付中

ポルシェセンター 京都  
 info@kyoto.porsche.jp



# JC NEWS



## KYOTO

3月例会

第1回拡大セミナー

70周年記念  
ロゴデザイン

理事長報告

特集：理事長対談

日本青年会議所会頭に聞く  
これからのJCのあり方とは？

理事長  
対談



2021.3



KYOTO\_JC

公益社団法人 京都青年会議所  
www.kyoto-jc.or.jp

ホームページ検索は、

京都青年会議所



# 3月例会(会頭訪問例会)

2021年3月11日(木)

京都ホテルオークラ4階暁雲の間

2021年3月11日(木)、公益社団法人日本青年会議所第70代野並晃会頭を京都にお迎えし、会頭訪問例会を開催いたしました。

第一部では、野並会頭より、「輝く個が切り拓く真に持続可能な国 日本の創造」をテーマにご講演いただきました。京都会議における会頭所信の内容にも敷衍いただきつつ、コロナ禍において、変化への柔軟な対応がより一層求められる社会情勢の下、会頭が考えられる青年会議所のあり方等についてお話をいただきました。

第二部は「共鳴タイム」と題し、鼎談形式でおこなわれました。野並会頭のほか、公益社団法人京都青年会議所第69代理事長長山野修平先輩及び石山理事長が登壇されました。メンバーからは、現在の青年会議所が直面しているチャンスに変えるべき危機的状況、コロナ禍におけるJC運動のあり方、青年会議所が「頼られる組織」であるために何が必要か、といった質問が出され、それぞれについて、野並会頭より、今後の会員拡大等に直結するようなご意見、アドバイスをいただきました。また、野並会頭と山野先輩が日本青年会議所で活動されていた頃のこぼれ話、石山理事長の出向当時のご経験など、御三方より、多岐にわたるお話をいただきました。



野並会頭のご講演



共鳴タイムの様子



共鳴タイムでの野並会頭

## 事業報告

### 第二回拡大セミナー

2021年2月10日(木)

WEB配信(ZOOM)

2021年2月10日にZOOMを活用したWEB配信配信にて、第一回会員拡大セミナーを開催致しました。

第一部では、JCI静岡2021年度直前理事長の山本正博君にご登壇いただき「発想の転換！コロナ禍の会員拡大」というテーマでご講演いただきました。昨年の新型コロナウイルスウィルス感染症により世の中が分断されている状況で、目標通りの50人の会員拡大を達成されました。そのうち、30人は山本直前理事長自ら関わって入会に導かれたとのこと。

拡大目標人数から逆算して拡大リストを作成する大切さや、SNSを活用して0から接点を創出するなど「がむしゃらに打席に立つこと」の重要性を説かれました。そして、会員拡大により若手メンバーが増加することで、組織の活性化につながるだけではなく、既存会員にとっても「拡大ほど成長できる学びの場はない」という金言もいただきました。

第二部では、まちづくり委員会委員であり、APDCのSG(事務総長)を務める渡守絃宜君と会員拡大委員会が中心となり、アクションプランの策定をおこないました。実際に会員拡大をおこなっていくうえで、「JCI I京都の魅力」をそれぞれのメンバーが自らの言葉で語れるようになるという目的で、現状理解、SWOT分析&アクションプラン、

伝え方&まとめという3つのステップで進行されました。

JCI京都拡大セミナー 2021年2月10日

### 発想の転換！ コロナ禍の会員拡大

JCI静岡 2021年度 直前理事長

山本正博

JCI 静岡 2021年度直前理事長

山本正博君によるWEB拡大セミナー



会員拡大委員会による拡大セミナー第二部の様子

### 70周年記念ロゴデザイン確定

この度、JCI京都70周年を記念するロゴデザインが確定いたしました。



70th\_logo\_concept

### 京都ブロック会長公式訪問 2021年2月25日(木) WEB配信(ZOOM)

京都ブロック会長公式講演が、開催されました。公益社団法人日本青年会議所近畿地区京都ブロック協議会2021年度会長の達城英治君が登壇されました。



公益社団法人日本青年会議所近畿地区  
京都ブロック協議会会長達城英治君と石山理事長

## 理事長報告

「かもどつふはん」に年賀状  
昨年度から京都青年会議所の公式キャラクターとして活動している「かもどつふはん」に年賀状が届きました。応援いただいていた皆様ありがとうございました。



- 2月25日 2月定時総会 京都ホテルオークラ 京都ブロック協議会会長公式訪問 京都ホテルオークラ
- 2月27日 京都ブロック委員会会議所WEB会議 京都ホテルオークラ
- 3月1日 年年歳歳京都青年団体会議代表者会 京都経済センター会議室
- 2日 第26回正副理事長会議 京都ホテルオークラ
- 5日 交流事業 WEB開催
- 9日 第27回正副理事長会議 WEB会議
- 11日 (公財)京都府暴力追放運動推進センター臨時評議員会 センター
- 16日 3月例会 京都ホテルオークラ
- 第11回理事会 京都ホテルオークラ

公益社団法人 京都青年会議所  
第70代理事長 石山 慶君



### 理事長 × 対談

公益社団法人 日本青年会議所  
第70代会頭 野並 晃君

**石山慶理事長**（以下理事長）「ようこそ京都へお越しくださいました。」

**野並晃会頭**（以下会頭）「いえ、こちらこそお呼びいただきありがとうございます。」

**理事長**「早速ではあります。まずは当LOMで毎月発行しているJCニュースという広報誌をお読みいただく方に野並会頭の人物像をまず知っていただきたく思います。」

**会頭**「是非、お願いいたします。」

**理事長**「テーマカラーについて、本年度のテーマカラーの黄色に

**理事長**「続いて、尊敬する人物はおられますか。」

**会頭**「特定の人はおりません。なぜかという点、人それぞれに「この人のこという所はないな」や「こういう所は真似しないでいい」と、なぞと「フスマイナスの面がある」と思っています。」

**理事長**「そうですね。私もそう思っています。そうした方とたくさん出会うことで成長できますよね。」

**会頭**「そうですね。JCにおいては、たくさんそういった特徴的な人と会うことができるので、色々な人を見れば見るほど学ぶことができる。そういった意味で、一人ひとりよりは、たくさんの人を見たいという引き出しの数を増やしていくことができればと考えています。」

**理事長**「私もこのことについては会頭と全く同意見です。JCの場合、役職が上がっていくと、尊敬する先輩と同じ役職につくことがあります。その当時の先輩も尊敬していたのですが、当時の先輩と同じ役職に就いた時により一層過去を振り返ってその凄さを体感することがあります。それから二重三重に尊敬していくというか、「凄いな」という気持ちが一層増えたりしていきます。そういった意味でも今までJCで会った方々から一人に絞られきれないですね。」

**理事長**「それではもう少し深く今後のJCのあり方についてお話しさせていただきたいです。まずは切っても切り離せない「ロナ」との関係について今後どのように活動すればいいとお思いでしょうか。」

**会頭**「青年会議所とはどんな状態にあっても地域のため、国のため、地球のために動き続けるのが大前提かと思えます。「ロナ」はただのファクターなので当然の事ながらそのファクターの大きさによって制限などがされた場合にはそれに従って選択肢は狭まったりはしますが「ロナ」という状況をどれだけポジティブに捉えるかだと思います。」

**理事長**「私もそう思います。私も「ロナ」を上手に活用して今の世の中に合わせてより良い状態を作っていく事だけなので、「ロナ」をチャンスだと考え、2021年は何でもできる環境なのではないかと思えます。このチャンスを活かさない手はないと思えますよね。」

**理事長**「その通りですね。このロナはチャンスだと思います。ただ、私もよく正会員には言いますが「一喜一憂はしてはいけ



ないと思えます。感染者数が多い少ないとかで判断するのではなく、確りと世の中を見定めて、次の行動に移すべきだと思っています。」

**会頭**「おっしゃる通りですね。特に今は社業も大変な方がおられます。その中でJC活動を通して「フ」手をチャンスに変える術を学び、皆様の社業にも貢献していただきたいと思います。」

**理事長**「そうですね。新しい時代に変わっていく中で、社業とJCとの両立はどのようにお考えですか。」

**会頭**「これはロナ以前から思っている事ですが、JCの為のJCをするという両立や兼ね合いが出来ないと思っています。これが自分のやっていることが家族・社業・地域に影響があると思えば自然に出来る活動なのかなと思えます。しかしこの考えは私が新入会員の時から3年ほど経ってからは思い始めた事なのでいくらか拘り定規に言っても全ての人の共感を得られないと思えますし、答えはないかなとも思っています。ただJCは余裕のある時に出来た組織ではなく戦後大変な時期に、自社の仕事のある中で地域を自分たの力で地域を良くしようと考えた訳です。困難な時代だからこそJCが必要とされていると考えると、70周年という今原点に立ち返るべきだと思えます。」

**理事長**「ご意見ありがとうございます。先ほどの学びにもつながってきませんが、今年度の会頭所信は、人の成長について触れられている部分が多いように思えます。人の成長について会頭自身が成長したと思った瞬間はありますか。」

**会頭**「正解がない世の中に対して、もっと新しい選択肢があるのではないかと挑戦していくことを学ぶという瞬間ですね。これは企業でも同じで、黙って成長できていた時代とは異なり、今の時代は決してそういうことではないと思えますし、そういった動くことの重要性を自然と気づかせてくれたのがJCでした。SDGsなんて「最たるもので、最初に言い始めたときは会社でまだ何が言っているな」と感じていたが、今となっては皆さん理解していますよね。理事長はどうですか。」

**理事長**「そうですね。私の場合は自身をもって「JC」に入れば私みになりたいなと思いますよ。」

**会頭**「おお、それはかっこいいですね。」

**理事長**「会員拡大委員長の時のポリシーとして「私みになりたいなですよ」を言い続けています。それを伝えるようにしてくれたのがJCであり、それを伝えるように成長させてくれると思えます。」

**理事長**「最後に会頭としてJCとは何かを言いたいですか。」

**会頭**「自分自身を成長させてくれる「環境」だと思えます。」

**理事長**「貴重なお時間頂き、ありがとうございます。」

**会頭**「こちらこそ、ありがとうございます。ちなみに理事長は一言で何かありますでしょうか。」

**理事長**「私みになりたいなですよ」と言えるようになる環境だと思います。」

**会頭**「かっこいい（笑）」

**理事長**「ありがとうございます。」